

調査・研修等計画届出書

令和 元年10月30日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三宅 聡



政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 元年11月6日から11月8日まで（2泊3日）	
調査先・研修名	鹿児島県霧島市 / 全国都市問題会議	
会場名（会場所在地）	鹿児島県霧島市 / 霧島市国分体育館	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<ul style="list-style-type: none">・ 受講動機 当に全国の様々な都市が抱えるリアルな問題点についてその対応方法も含めて学んで参りたい。・ 研修テーマにおける瀬戸市の課題、自己の課題 都市の活力をアップするには市民の皆様との様々な協働が必要かと考える。それを具現化するためどのような形で市民の皆様と連携を取って創っていくのか自身の課題として参りたい。	
議長名の依頼	要 ・ 不要	依頼先（名称）
同行者名		

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 元年 11月 25日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三宅 聡



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和元年11月 6日から11月 8日まで（2泊3日）
調査先・研修名	鹿児島県霧島市 国分体育館
会場名（会場所在地）	鹿児島県霧島市 国分体育館
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<ul style="list-style-type: none">・ 受講動機 当に全国の様々な都市が抱えるリアルな対災害についてその対応方法も含めて学んで参りたい。・ 研修テーマにおける瀬戸市の課題、自己の課題 都市防災力をアップするには市民の皆様との様々な協働が必要かと考える。それを具現化するためどのような形で市民の皆様と連携を取って創っていくのか自身の課題として参りたい。

研修で学んだこと・キーワード等

・コミュニティとは

自治会、町内会であるが、それは個性的、多様であり行政から創ることのできない自生的なものであり、生活上、防災上その地域にとって重要なものである。

・災害が起こることを前提に準備をする

鹿児島では薩摩藩独自の門割制度に学び、古くから災害リスクの分散化が図られて来た。

・祭りの復興イコール街の復興

伝統的な祭りに取り組んでいる所は普段より連携、指示系統がしっかりしている為祭りの復興も早いし、街の復興も早い。

研修（受講後の感想）

当にいつ起こるか分からない自然災害に対して命を守る為、万全の準備をすることは当然である。今回、実際に被災をされた方々からの貴重な話の中で共通していたのは、発災時は「自分の身は自分で守る。」、「行政はあてにならない。」、「結局は向こう三軒両隣」

防災リーダーをいくら組織してもその地域のコミュニティに活気が無ければ上手く機能しないということである。

「祭りの復興が早い地域はその復興も早い」納得のいく話であり、希望のある話であった。地域の皆様が楽しく普段の生活コミュニティに参加していくことがいざというときの地域防災力アップに自然と繋がっていく。

重くなりがちな防災対策にあって明るい話である。

「命に危険が及ぶので直ちに避難してください。」などとニュースやラジオ、防災無線などから聞こえてきてもどこかで、「自分は大丈夫。」、「ここは大丈夫。」と思ってしまう人が多いのが現実のようです。そこで、「今あなたが逃げないと周りの人、消防団の人が危険にさらされます。」と、自分ではなく他の人に迷惑がかかる、危険が及ぶという意識を持ってもらうことが有効であると聞いた。全く同感である。

瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等

「釜石の奇跡」を起こすことができた一番の要因は「避難訓練」であったと。子どもたちの中に地震が起きたらどう行動するかがしっかり入っていたから皆助かった。行政として更に強く地域コミュニティにおける避難訓練、防災訓練実施の大切さを訴え、支援していく必要があると感じた。また、防災の要となるコミュニティの中心者、人材育成にも手を入れる必要があると感じた。